

平成 28 年度 東区長マニフェスト

東区長 齋藤 聖子

マニフェスト

人口減少、少子・超高齢社会への対応を最重要課題と捉え、地域コミュニティ協議会、区自治協議会をはじめ地元企業や地元大学なども含めた地域の皆様と連携・協働し、心地よく暮らしやすい地域づくりを進めるとともに、地域の魅力づくりに取り組み、人もまちも元気で笑顔があふれる東区を目指します。

この方針のもと、今年度も、次の 3 つの取組みを重点的に実施します。

- 1 安心安全なまちづくり
- 2 支え合い助け合うまちづくり
- 3 魅力あふれるまちづくり

マニフェスト実現に向けた取り組み

1 安心安全なまちづくりを推進します。

現状 (課題)	海と信濃川・阿賀野川に面した低平地に住宅が広がる東区にとって、津波や洪水から命や財産を守ることは重要な課題となっています。 自主防災組織の結成率は 9 割を超え、防災に対する地域の方々の意識は高く、積極的な取り組みを進めていますが、まだ一人ひとりに浸透しているとは言えない状況です。 災害から区民の生命と財産を守るために、「自助」・「共助」・「公助」の連携による安心安全なまちづくりの取り組みが求められています。	
	目標	平成 34 年度までに区ビジョンまちづくり計画に掲げた施策の着実な実施
課題解決策	自治会・町内会・地域コミュニティ協議会等において「防災出前講座」を開催し、地域の特性や防災基礎知識を学んでもらい、区民のさらなる防災意識の醸成を図ります。 また、地震発生後 30 分以内に津波が到達すると想定される緊急避難区域において、既存施設を活用した一時避難場所の確保を進めるため、地域と協働して津波避難計画の策定に取り組みます。 さらに、高台等を利用し、一時避難場所となる公園整備を行うなど、防災面に配慮した整備を行っていきます。	
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・防災出前講座やワークショップの開催 ・地域における津波避難計画の策定（船江町地区） ・一時避難場所を兼ねた公園整備 	

取組結果	主な取組の指標達成状況	設定数	3	達成数	3
	自治会での防災講座やワークショップの実施回数は目標数値を上回りました。また、津波からの避難対策として、船江町地区の津波避難計画の策定や一時避難場所としての白新線公園 C 工区の一部を整備しました。				
今後の方針	防災講座などは、講座をまだ開催していない自治会にも広げていくことで、広く区民の防災意識の醸成を図ります。また、津波からの避難対策として、船江町地区における避難階段の建設へつなげていくとともに、一時避難場所としての白新線公園の整備も引続き行っていきます。				

2 支え合い助け合うまちづくりを推進します。

現状 (課題)	<p>地域のつながりが希薄になるなか、子育てに不安や孤立感を抱える保護者も多いことから、未来を担う子どもたちが健やかに育つように、保護者だけではなく地域と行政などが連携して子育てに取り組んでいく必要があります。さらに、母親に負担が集中しやすい現状から、父親が子育てに積極的に参加・協力することが必要です。</p> <p>また、超高齢社会を迎えるなか、誰もが、住み慣れた地域で安心して元気に暮らし続けることができるように、高齢者の在宅での生活状況を確認できる体制をはじめ、日常生活への支援や介護予防、在宅医療推進への一層の取り組みも求められています。</p>				
課題解決策	目標	平成34年度までに区ビジョンまちづくり計画に掲げた施策の着実な実施			
主な取組	<p>妊娠・出産・子育て期を通して切れ目なく相談に応じる体制を強化するため、専門職を増員して支援を行います。また、子育て中の親子が集う場を提供して、親同士の交流の推進を促すとともにニーズに対応した子育て支援プログラムの実施などを通じて、地域で安心して子育てができるようにサポートし、不安感・孤立感の解消を図ります。さらに、父親も参加しやすい講座や講演会を実施し、父親の子育て参加を促進します。</p> <p>また、地域コミュニティ協議会などの地域の力を最大限に活かし、高齢者に対する生活支援を中心に、見守り訪問や介護予防を実施するとともに、人生の最後まで住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるように、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供できる「地域包括ケアシステム」の構築に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援講座、親子・地域の交流の推進 ・子育て支援関係者の連携強化とスキルアップ ・高齢者の生活実態把握とニーズ調査の実施 ・地域で取り組む健康長寿の推進 				
取組結果	主な取組の指標達成状況	設定数	5	達成数	5
今後の方針	<p>子育て支援講座等の開催については、いずれもニーズが高いことから常に定員に達しており好評を得ることができました。また、子育て支援関係者の研修会についても目標どおり開催し、参加者からは今後も継続してほしいという意見が多数ありました。</p> <p>高齢者の生活実態把握とニーズ調査のため、介護認定を受けていない高齢者のみ世帯の全戸訪問を実施し、高齢者のニーズに合わせて必要とされるサービスへの誘導を図りました。</p> <p>地域で取り組む健康長寿の推進のため、健康づくりや介護予防講演会、ウォーキング等体験講座を開催し、参加者からは高い評価を得ることができました。</p> <p>子育て支援策はいずれも好評でニーズが高いことから引き続き実施し、子どもたちのすこやかな育ちを地域全体で支援する子育てにやさしい環境づくりを進めます。また、高齢者が、住み慣れた地域で健康で生きがいを持ち、いきいきとした生活ができるよう「地域包括ケアシステム」の構築にスピード感をもって取り組みます。</p>				

3 魅力あふれるまちづくりを推進します。

現状（課題）

東区域内にあった可能性が高いとされる日本最古の城柵「淳足柵（ぬたりのき）」をキーワードに、歴史に関する様々なプロジェクトを平成24年度から実施してきました。26年度には牡丹山諏訪神社での古墳発掘が注目を集め、東区民が自らの歴史を発見していく機運が、地域の活性化と魅力づくりに大きく寄与しています。

また、数多くの企業が集積する市内屈指の工業地域であることから、ものづくりに対する誇りや魅力の再確認と発信も重要となっています。

さらに、東区役所庁舎は、区役所機能のほかに「東区プラザ」や民間の店舗が共存し、市民が気軽に集い、語り合える場を提供できる施設であることから、多くの区民に利用していただき「にぎわい」の創出を図る必要があります。

区内の公共交通は、南北方向に移動する手段が少ないため、区役所を経由・発着点とする区バスを運行し補完しています。しかし駅やバス停が遠く公共交通の利用機会の少ない地域の中には、区バスも利用しにくいところがあります。

地域の活性化を図るためには、若者の地域活動への参画を促す必要があります。

目標

平成34年度までに区ビジョンまちづくり計画に掲げた施策の着実な実施

課題解決策

地域の歴史について普及啓発するとともに、地域コミュニティ協議会、区自治協議会をはじめとする区民、地元商店街、地元企業、県立大学などと協力しながら、地域の誇りづくりを進め魅力あるまちを目指します。

現区役所庁舎の誕生5周年を記念し、庁舎内の事業所や各種団体をはじめ区民が一体となって、東区の魅力をさらに引き出し発展させるための土台づくりに取り組みます。これまで行ってきた「歴史浪漫」「ものづくり」「まんなか文化」の3大プロジェクトと連動した企画や、地域コミュニティ協議会と協働して、「東区工場夜景バスツアー」を拡大して実施するなど、東区の魅力を区内外にPRしていきます。

また、区役所において、全職員が心のこもった接遇や迅速な事務処理を行うことにより、区民の満足度を上げるとともに、区役所が複合施設であるという特徴を活かし、区民が集う「にぎわい」の創出に取り組みます。

公共交通については、区バスが通っていない地域（紫竹・江南地区）を経由して、東区役所と越後石山駅を結ぶ区バス新規ルートの実験を実施し、検討を行います。

主な取組

- ・東区歴史浪漫プロジェクトの実施
- ・東区ものづくりプロジェクトの実施
- ・南口エントランスホール活用事業
- ・区バス新規ルート社会実験の実施

取組結果

主な取組の指標達成状況	設定数	4	達成数	4
-------------	-----	---	-----	---

歴史浪漫プロジェクト・ものづくりプロジェクトとも目標を達成し、区の魅力づくりにつながりました。

また、現区役所庁舎誕生5周年を記念したイベントは、地域の皆さんと一体となり取り組み、東区の魅力発信を行いました。区役所南口のエントランスホールの活用においては、目標を達成し、区役所の特徴を生かした「にぎわい」の創出につながりました。

区バスの社会実験は、予定どおり7月から運行を開始しました。

今後の方針

歴史浪漫プロジェクトでは、新たな目線で東区の歴史浪漫に興味を持ってもらえるよう、事業の内容を見直して実施します。

また、区役所庁舎が複合施設であるという特徴を活かした「にぎわい」づくりも工夫しながら取り組んでいきます。

区バスの社会実験では、平成 28 年度の利用状況や利用者アンケートの結果を踏まえて運行内容を見直し、社会実験を継続します。

平成28年度 東区長マニフェストに掲げた取組の指標一覧表

1 安心安全なまちづくりを推進します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標	H28結果			補足・参考指標
1	総務課	区民の更なる防災意識の醸成を図ります。	・わが家の津波ひなん地活用支援事業 ・自主防災組織等の活動支援 ・避難所運営体制の強化 ・啓発事業	防災講座・ワークショップの開催	-	12コミ協で実施	23自治会等で実施	25自治会等で実施	29自治会等で実施	・区ビジョンまちづくり計画(第1次実施計画)	・自治会の自主防災訓練や防災研修会等における防災講座は、目標を上回って実施しました。近年、大規模自然災害が発生していることから、日頃からの備えの大切さを伝えることで、防災意識の向上を図りました。	達成
2		津波からの避難が特に困難な地域について、地域とともに津波避難計画を策定します。	・地域における津波避難計画づくり ・既存施設を活用した避難階段の実施設計	地域における津波避難計画の策定(船江町地区)	-	-	-	津波避難計画策定(船江町地区)	・津波避難計画(案)を策定(船江町地区) ・避難階段の実施設計作成		・船江町地区で防災講座を開催することで、参加者自身が避難場所を確認し、「津波避難計画(案)」を策定しました。 ・避難階段の実施設計を作成し、H29年度の建設へ繋げることができました。	達成
3	建設課	快適な生活環境や安心安全なまちづくりを進めるため、重要なプロジェクトを着実に推進します。	・一時避難場所を兼ねた白新線公園の敷地造成、植栽、園路、階段の整備	白新線公園整備	-	測量設計 実施設計 用地買収	B工区整備	C工区一部整備	C工区一部整備	・平成28年度にC工区の一部を整備する。 (4工区のうち2工区目の一部を整備)	・白新線公園整備は、C工区の一部を整備しました。	達成

2 支え合い助け合うまちづくりを推進します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価		
				項目(単位)	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標	H28結果			補足・参考指標	
1	健康福祉課	子育ての不安感・孤立感を解消させ、地域で安心して子育てができるようにサポートします。	・子育て支援講座、親子・地域の交流の推進 ・子育て支援関係者の連携強化とスキルアップ	子育て支援講座等の開催(回)	89	170	178	180	182		・いずれの講座等もニーズが高いことから、常に定員に達しており好評を得ることができました。	達成	
2				子育て支援関係者の研修会の開催(回)	2	8	8	8	8		・子育て支援関係者の研修会については目標とおり開催しました。参加者からは、今後も継続してほしいという意見が多数ありました。	達成	
3		高齢者が住み慣れた地域で孤立せず地域と関わりをもち、安心して生活できるように支援します。	・高齢者の生活実態把握とニーズ調査の実施	東区全域での高齢者世帯への訪問調査の実施	-	対象全世帯への訪問を実施	対象全世帯への訪問	対象全世帯への訪問	対象全世帯への訪問	・訪問対象世帯 65歳以上で介護認定を受けていない、一人暮らしを含む高齢者のみの世帯	・民生委員・児童委員の協力により、調査対象者の生活の様子を把握する現況調査を行い、高齢者のニーズに合わせて必要とされるサービスへ誘導を図りました。	達成	
4		健康寿命の延伸を目指し運動習慣の定着を図り、健康づくりを推進します。	・地域で取り組む健康長寿の推進	健康づくり・介護予防講演会(回)	3	3	3	3	3	3		・講演会は定員に満たない会もありましたが、参加者からは、高い評価を得ることができました。	達成
5				ウォーキング等体験講座(回)	4	8	10	8	8	8		・ウォーキング教室は、教室終了後に自主グループができ、地域での健康づくりの核となることが期待できます。	達成

3 魅力あふれるまちづくりを推進します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H25実績	H26実績	H27実績	H28目標	H28結果			補足・参考指標
1	地域課	地域産業との連携及び歴史・文化の普及・啓発、活用を通じ地域の誇りづくりや活性化を進めます。	・東区歴史浪漫プロジェクトの実施	歴史浪漫プロジェクト(関連活性化事業)の実施(参加店舗数)	48	60	75	85	85	・H27歴史浪漫プロジェクト実績(スタンプラリー達成者250人)	・沼垂エリアの店舗に参加を呼びかけたことなどにより、参加店舗が昨年度より10店舗増加しました。	達成
2			・東区ものづくりプロジェクトの実施	(仮)ここいち企業応援事業の実施(紹介企業数)	-	-	-	5	5	・スペシャルサイトの再構築(～8月) ・ホームページ、区だよりで企業紹介(9月～)	・スペシャルサイトの再構築は、新たなサイト「ゲンキ魂」をリニューアルし、順次区内の特色ある企業の紹介を行っています。	達成
3		区バスをはじめとする区内の公共交通について更なる利便性の向上を図ります。	・紫竹・江南ルートの社会実験を実施し、市民の需要を把握する。	・社会実験の実施	-	-	アンケート調査の実施	実施	実施	・実験期間 7月下旬頃から29年3月31日まで	・紫竹・江南ルートの社会実験を7月29日から運行を開始しました。	達成
4	総務課	東区役所での「にぎわい」の創出を促進します。	・南口エントランスホール活用事業 ・市の事業によるパネル展や展示会など	南口エントランスホールの延べ利用日数	-	-	利用回数 226日	利用日数 250日	利用日数 370日	・区ビジョンまちづくり計画(第1次実施計画) ・物販、イベント、パネル展示等の延べ利用日数	・市や区の事業PRの場として活用されたほか、新規の一般利用も増加し、延べ利用日数は当初の目標を大きく上回りました。	達成